



ソフトウェア工学実習 Software Engineering Practice (第05回)

SEP05-002 【実習編】NetBeans-Counter
P0305-Counter-005-Inheritance

慶應義塾大学・理工学部・管理工学科
飯島 正

iiijima@ae.keio.ac.jp

こんにちは。
この授業は、
ソフトウェア
工学実習
です

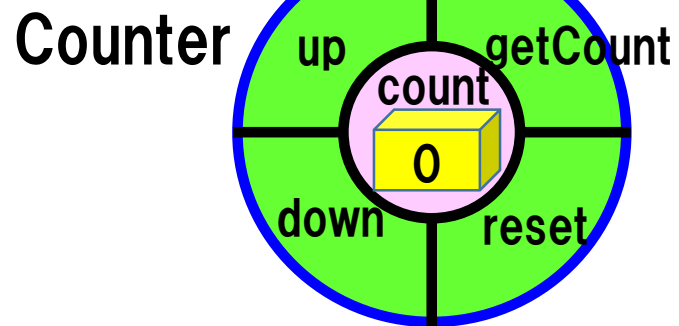


モデル-ビュー-コントローラ (Counterの分離)

SEP05

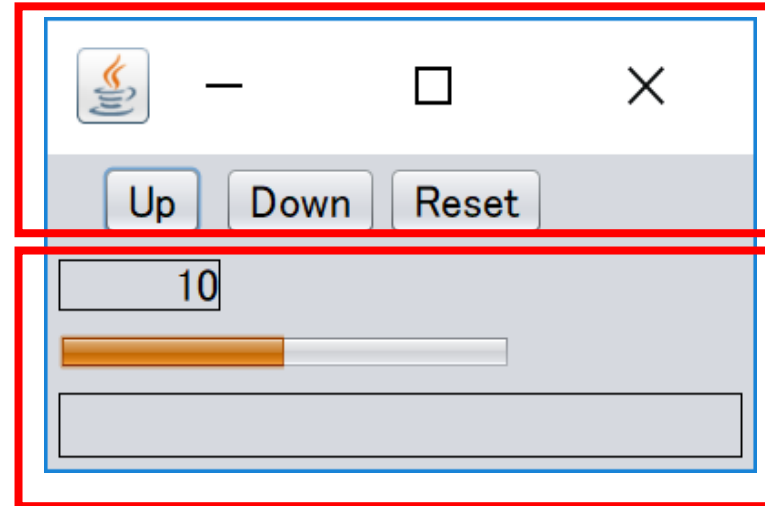
2

- Model ... カウンターのロジック
- View ... カウンターの見た目 (表示)
- Controller ... カウンターの操作



Model
... カウンターのロジック

Controller ... カウンターの操作



View ... カウンターの見た目 (表示)

ViewとControllerが一体化していて、分離しにくい
GUI部品もある(たとえば、スライダー)

一つの
アプリケーション
を
モデル、ビュー、
コントローラに
分離しましょう。



前回の課題

• 前回の課題 (1)

- モデルであるカウンタ (Counterクラス) で、エラーを識別するようにします
- 例外処理機能を使ってエラー処理をしましょう
- 何をエラーとするか？
 - down () メソッド：カウントがゼロなのに、デクリメントしようとしたとき
 - up () メソッド：上限値も設けて、上限値を越えた場合もエラーとしましょう
 - セッターsetCount () メソッドにも、エラーチェックをつけましょう

• 前回の課題 (2)

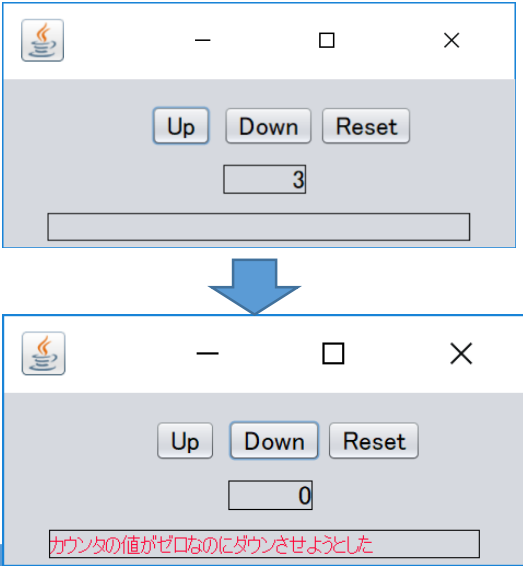
- 多重ビュー：プログレスバーを使いましょう。
 - 前回は、スライダーを使うように伝えていましたが、より簡単なプログラスバー (JProgressBar) を使うことにします。

前回の課題は
二つです



前回の課題 (1)

- エラーが仕様した時, 例外を発生させてみよう.
 - 内部状態が使用の範囲外
 - `throw new IllegalStateException(“メッセージ”);`
 - 引数が仕様の範囲外
 - `throw new IllegalArgumentException(“メッセージ”);`
- 呼び出す側のメソッドでは…
 - `throws`句で更に, 呼び出し元に移譲する, か, もしくは,
 - `Try {} catch() {} finally {}` で例外処理を記述する.



	プロジェクト名		
(1)	P0303_Counter-003-Exception	例外処理	エラーコードよりも, 例外処理を使う方が, モデルとUIとの分離を高めます.

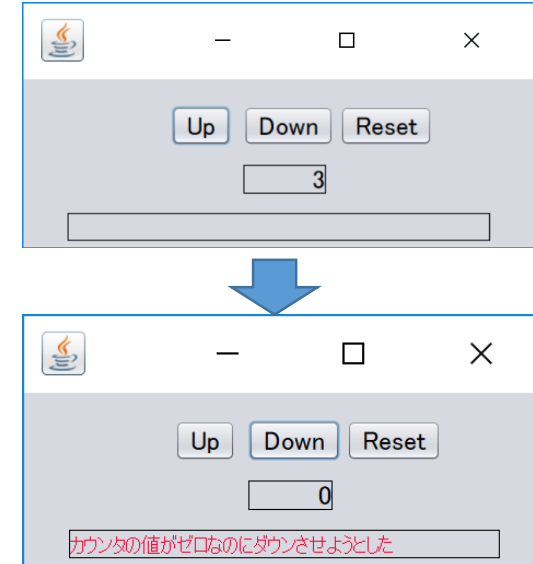
前回の課題は
二つです

	プロジェクト名	パッケージ	メインクラス	その他のクラス
(1)	P0303_Counter-003-Exception	counter	Main	CounterFrame(JFrameフォーム) Counter(カウンタのモデル)



前回の課題(1)：例外処理

- エラーが仕様した時，例外を発生させてみよう。
 - 内部状態が使用の範囲外
 - `throw new IllegalStateException(“メッセージ”);`
 - 引数が仕様の範囲外
 - `throw new IllegalArgumentException(“メッセージ”);`
- 呼び出す側のメソッドでは…
 - `throws`句で更に，呼び出し元に移譲する，か，もしくは，
 - `Try { } catch() {} finally {}` で例外処理を記述する。



IOExceptionを
覚えています
か？

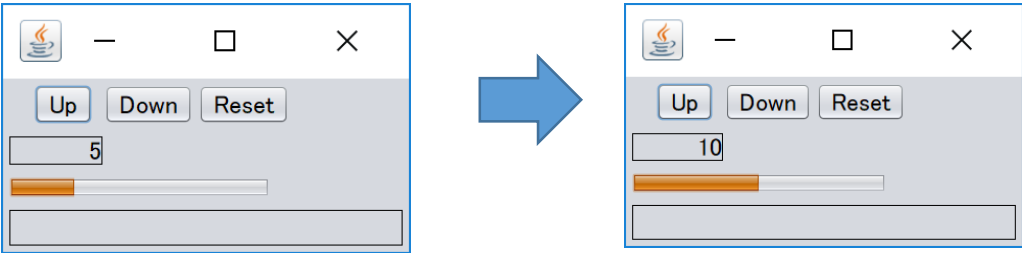
	プロジェクト名	パッケージ	メインクラス	その他のクラス
(1)	P0303_Counter-003-Exception	counter	Main	CounterFrame(JFrameフォーム) Counter(カウンタのモデル)



前回の課題 (2)

• 前回の課題 (2)

- カウンタの値を，テキストで数値表示するとともに，プログレスバー（進捗バー）をつかってグラフィカルに表示しましょう



本日の課題は
二つです

	プロジェクト名		
(1)	P0304_Counter-004-MultiView	多重ビュー	JProgressBarも併用します.

	プロジェクト名	パッケージ	メインクラス	その他のクラス
(1)	P0304_Counter-004-MultiView	counter	Main	CounterFrame(JFrameフォーム) Counter(カウンタのモデル)



本日の課題

・ 本日の課題

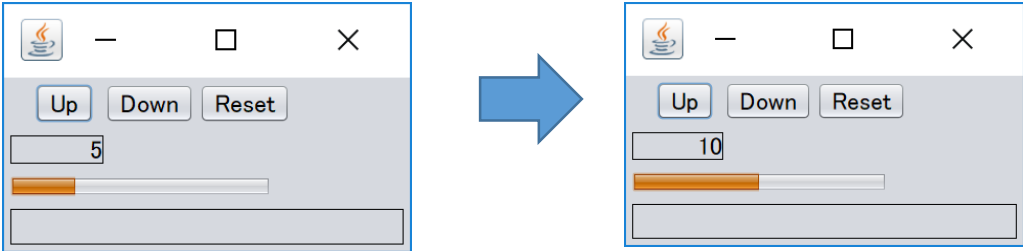
	プロジェクト名	
(1)	P0305a_Counter-005-Inheritance	モデルを拡張する。 属性maxとminだけをサブクラスCounterRangedへ
(2)	P0305b_Counter-005-Inheritance	サブクラスCounterRangedへにもメソッドupやdownの改訂版を作って、オーバーライドさせます。 その際、Counterの属性countがprivateではアクセスできないことを確認してください。publicに替えましょう。
(3)	P0305c_Counter-005-Inheritance	サブクラスCounterRangedで再定義されている、up()メソッドやdown()メソッドでは、getCount() / setCount()メソッドで、countにアクセスします。
(4)	P0305d_Counter-005-Inheritance	サブクラスCounterRangedでsetCount()メソッドを再定義して、上限値/下限値のチェックを含めましょう。スーパークラスのsetCountメソッドを呼び出すには、super.setCount()と書きます。
(5)	P0305e_Counter-005-Inheritance	スーパークラスCounterの中の属性countのアクセスレベルをprotectedにするだけで、簡単に解決します。



本日の課題 (1)

• 本日の課題 (1)

- 前回のプロジェクトをコピーして
- 継承を導入しましょう



- まず、モデルに下限値（ゼロ）だけでなく
上限値も導入して、例外チェックさせましょう
- それに先立って、モデルに、max (デフォルト値は0) とmin (同, 20) を導入し、
対応するgetterとsetterもつけましょう
- 次にCounterのサブクラスCounterRangedを作り、差分を移動させます。

本日の課題は
継承です

	プロジェクト名		
(1)	P0305a_Counter-005-Inheritance	継承	モデルを拡張する。 属性maxとminだけをサブクラスCounterRangedへ

	プロジェクト名	パッケージ	メインクラス	その他のクラス
(1)	P0305_Counter-005-Inheritance	counter	Main	CounterFrame(JFrameフォーム) Counter(カウンタのモデル)

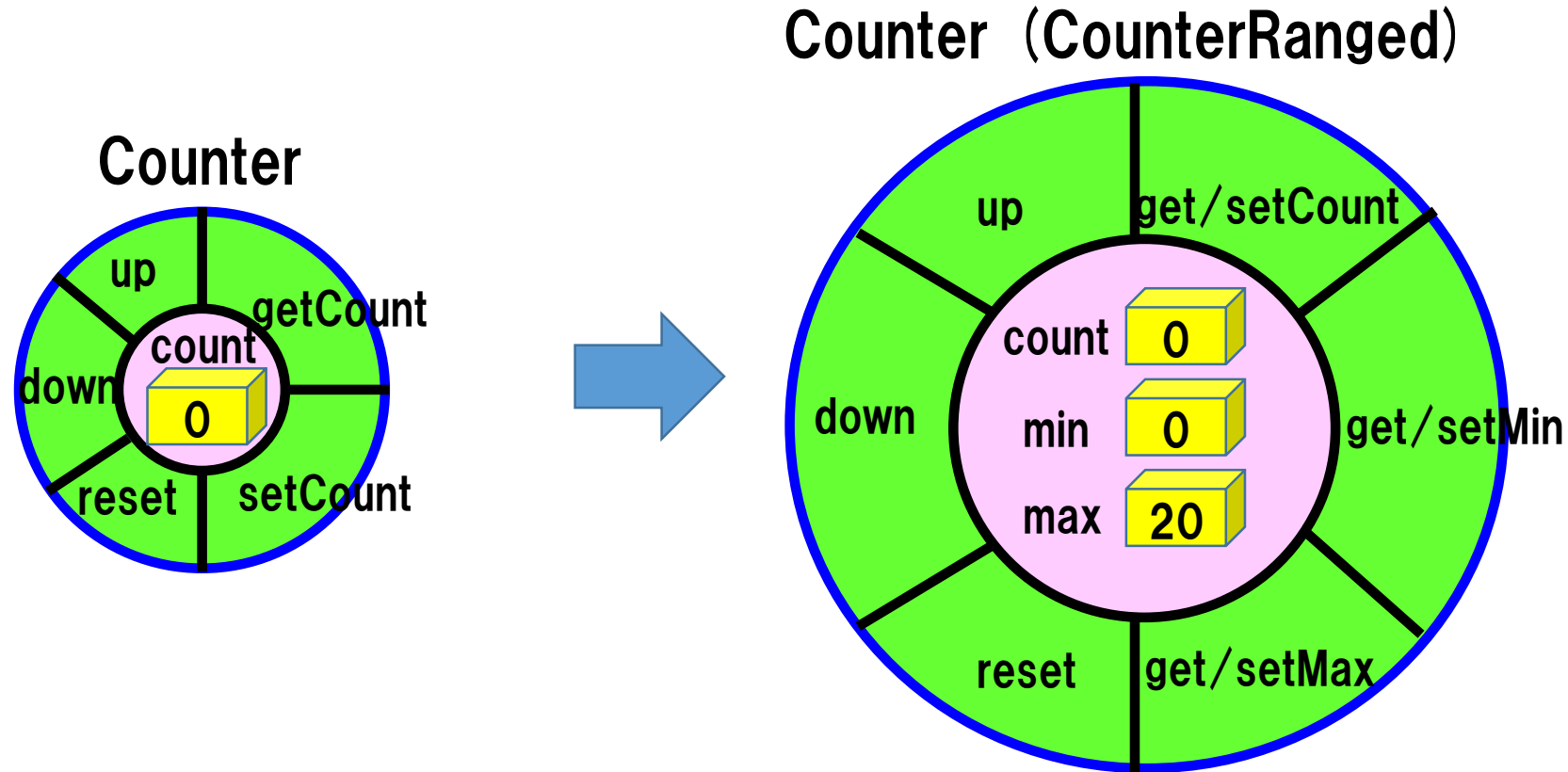


発展:上限値と下限値はモデルが持つべきもの

SEP05

9

- 上限値maxと下限値minをCounterクラスに持たせる



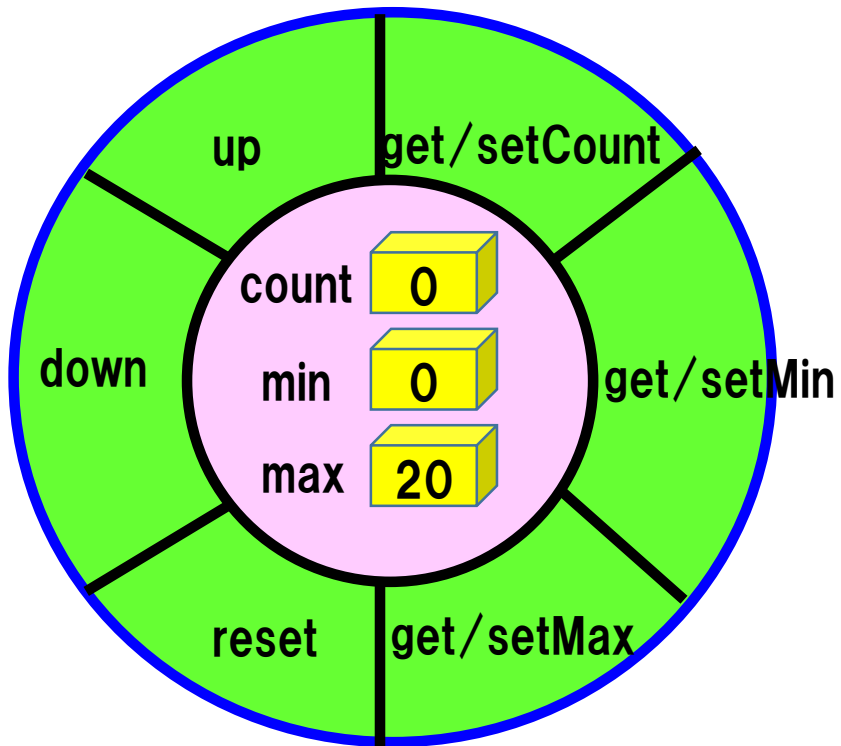
既に定義した
クラスを
拡張しても
よいのですが
...



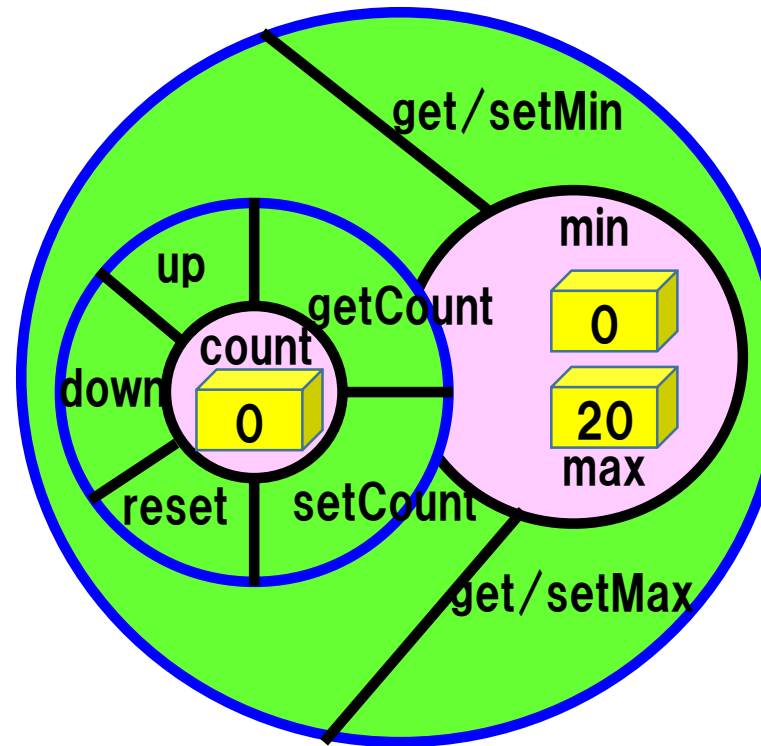
発展: 基本機能に拡張機能を追加したもの

- 基本機能と拡張機能を混在させないで，管理できるか？

CounterRanged



CounterRanged



基本機能と
拡張機能は
分離して別々に
管理したいです
ねっ!!

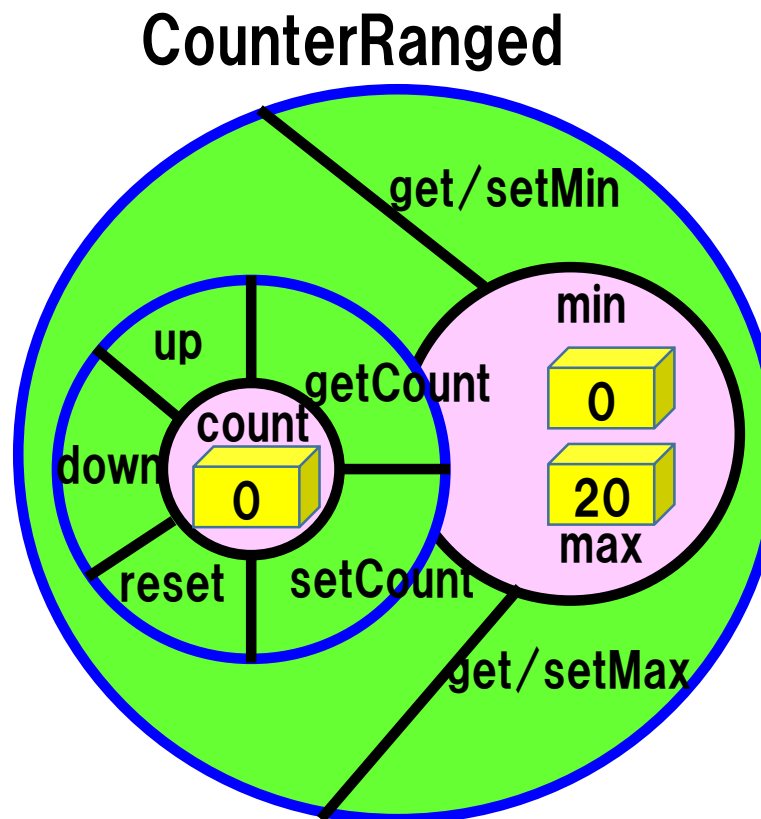
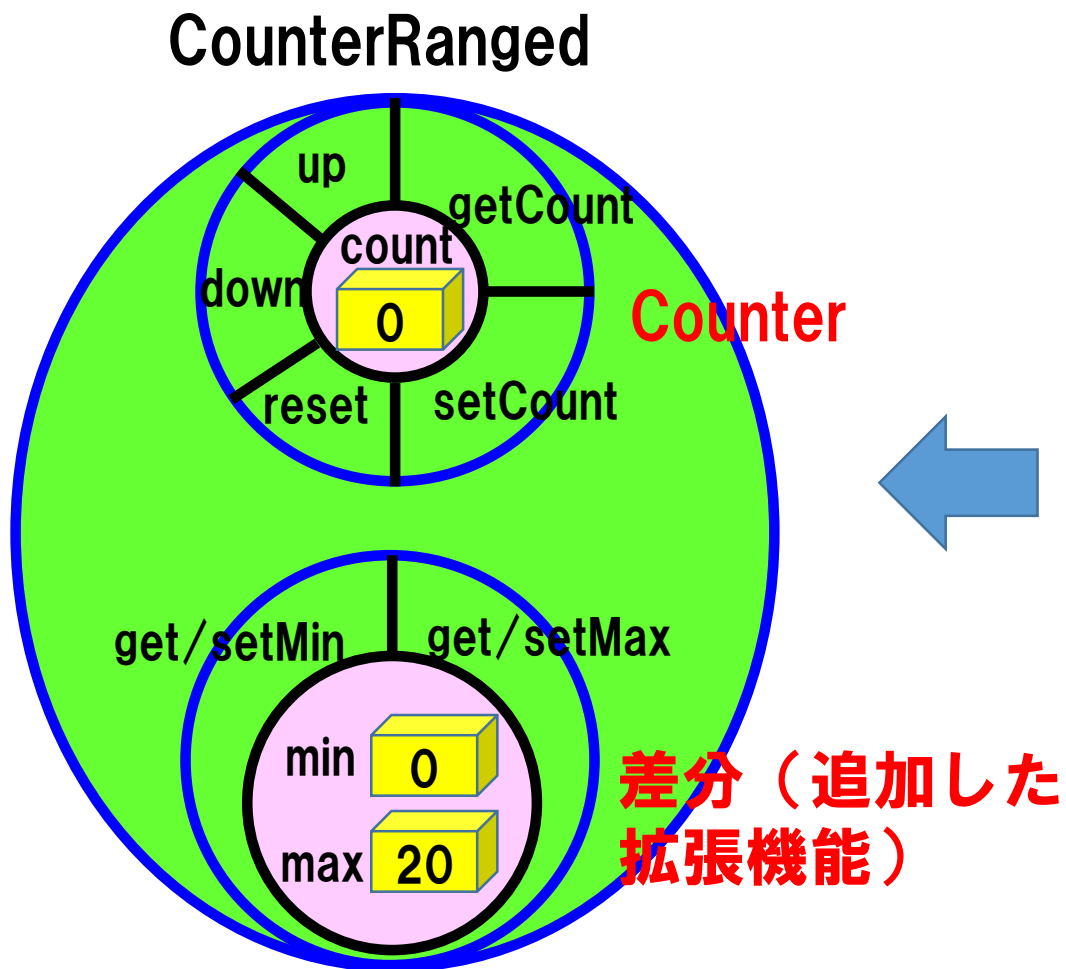


今回の発展: 継承を使った差分プログラミング

SEP05

11

- 上限値maxと下限値minをCounterクラスに持たせる

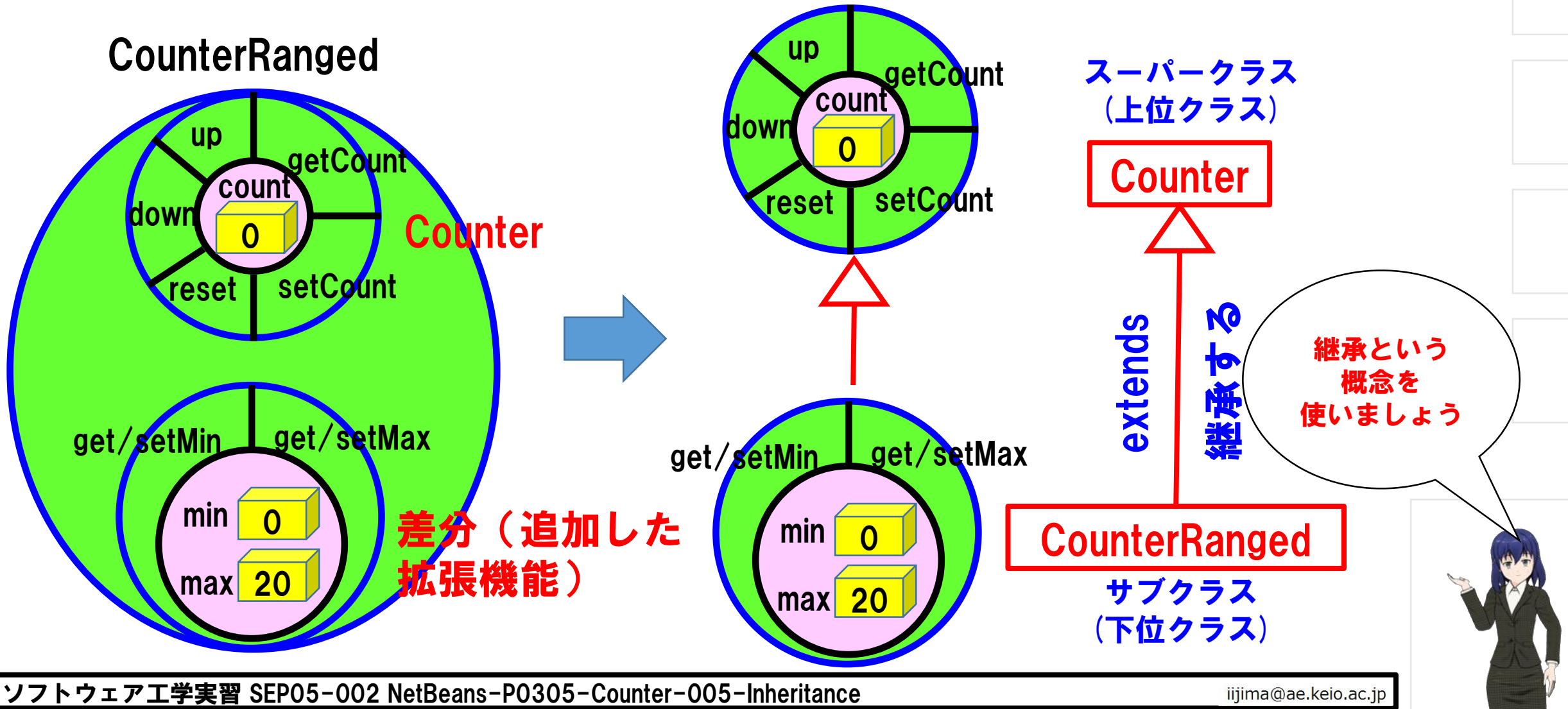


拡張する部分
は
新しい定義で
の差分です



今回の発展: 継承を使った差分プログラミング

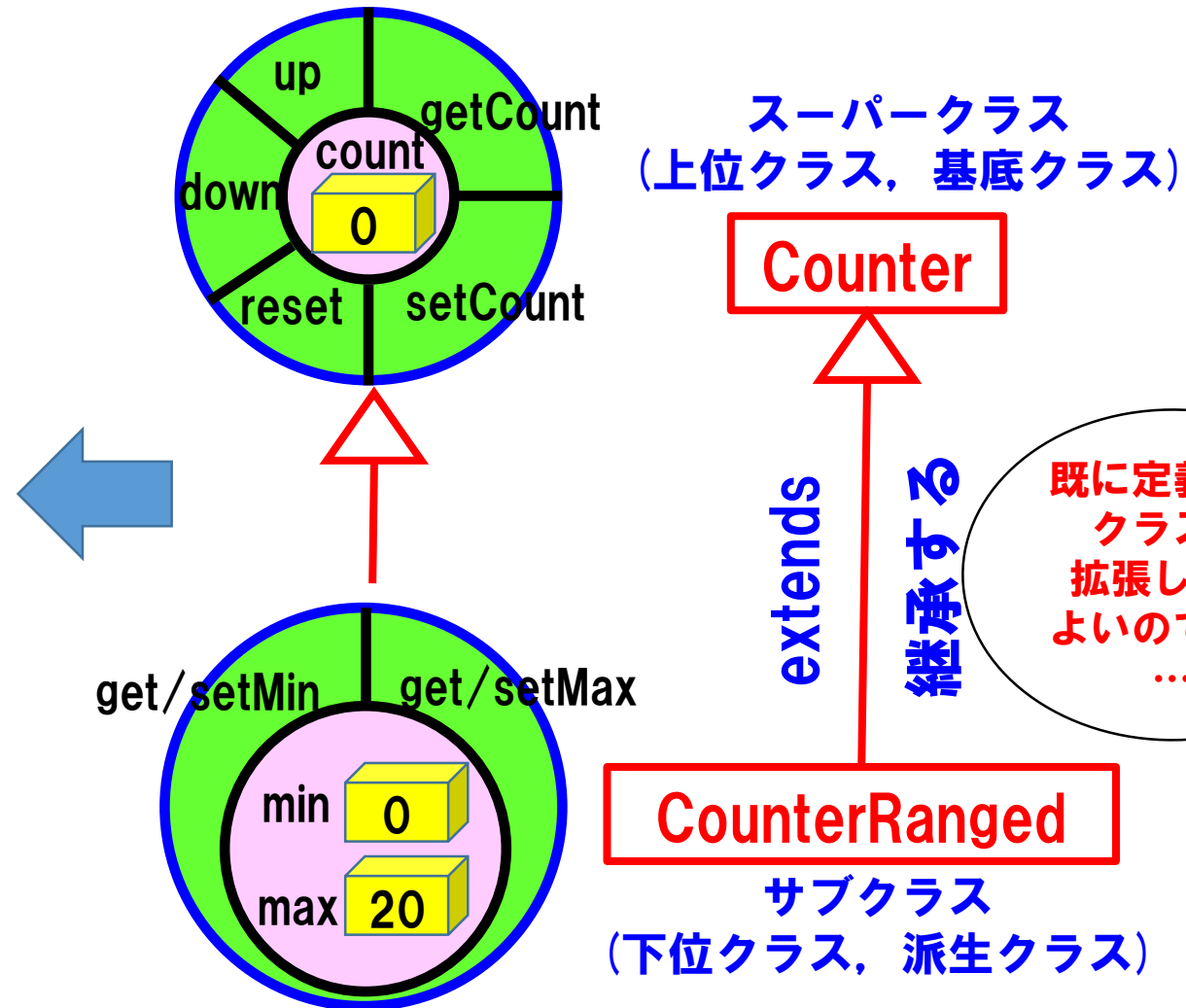
- 上限値maxと下限値minという差分を, サブクラスCounterRangedに



継承を使った差分プログラミング

- ・サブクラスは、
(差分を定義することで)
スーパークラスを拡張する
- ・サブクラスは、
スーパークラスから
性質(属性, メソッド)を
継承する(受け継ぐ)

```
public class CounterRanged  
    extends Counter {  
    int min = 0;  
    int max = 20;  
    ...  
}
```



package counter;

```
public class CounterRanged extends Counter {  
    private int min = 0;  
    private int max = 20;  
  
    public CounterRanged () { min = 0;    max = 20; }  
  
    public int getMin () { return (min); }  
    public int getMax () { return (max); }  
    public void setMin (int min) { this.min = min; }  
    public void setMax (int max) { this.max = max; }  
}
```

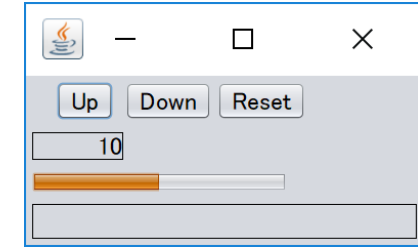
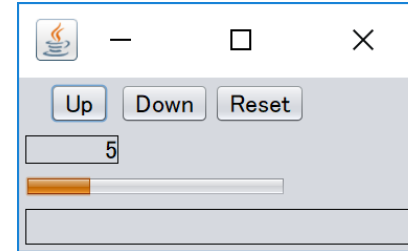
差分を
サブクラスへ
移動します



本日の課題 (2)

• 本日の課題 (2)

- 課題 (1) プロジェクトをコピーして
- さらに発展させましょう。



- CounterのサブクラスCounterRangedを作って差分を移動させただけでは…
- それだけでは、サブクラスの変数max/minを、upやdownで使えません。
- サブクラスにもメソッドupやdownの改訂版を作り、オーバーライド(上書き)させます。

	プロジェクト名		
(1)	P0305a_Counter-005-Inheritance	継承	モデルを拡張する. 属性maxとminだけをサブクラスCounterRangedへ
(2)	P0305b_Counter-005-Inheritance	継承	サブクラスCounterRangedへにもメソッドupやdownの改訂版を作って、オーバーライドさせます. その際、Counterの属性countがprivateではアクセスできないことを確認してください。publicに替えましょう。

メソッドの
オーバーライド
(上書き)



継承を使った差分プログラミング

SEP04

16

package counter;

public class CounterRanged extends Counter {

...

@Override

public void up () {

if (count < max) {

count++;

} else {

throw new IllegalStateException (

String.format ("カウントが上限値%dなのにアップさせようとした", max);

}

}

...

}

サブクラスで
再定義して
オーバーライ
ドさせます



継承を使った差分プログラミング

SEP04

17

package counter;

public class CounterRanged extends Counter {

...

@Override

public void down() {

if (count > min) {

count--;

} else {

throw new IllegalStateException (

String.format ("カウントが下限値%dなのにダウンさせようとした", min);

}

}

...

}

サブクラスで
再定義して
オーバーライ
ドさせます



package counter;

```
public class Counter {  
    ...  
    public int count = 0;  
    ...  
}
```

countをpublic
に替えます



本日の課題 (3)

• 本日の課題 (3)

- 課題 (2) プロジェクトをコピーして、さらに発展させます。
 - 属性countのアクセスレベルをpublicにしてしまうとカプセル化を破壊してしまいます。
 - アクセス修飾子をprivateに戻して、アクセッサでアクセスしてみます。

	プロジェクト名		
(2)	P0305b_Counter-005-Inheritance	継承	サブクラスCounterRangedへにもメソッドupやdownの改訂版を作って、オーバーライドさせます。その際、Counterの属性countがprivateではアクセスできないことを確認してください。publicに替えましょう。



	プロジェクト名		
(3)	P0305c_Counter-005-Inheritance	継承	サブクラスCounterRangedで再定義されている、up()メソッドやdown()メソッドでは、getCount() / setCount()メソッドで、countにアクセスします。

アクセッサで
アクセスします



package counter;

public class Counter {

...

private int count = 0;

...

}

Privateに戻し
ます



継承を使った差分プログラミング

SEP04

21

package counter;

```
public class CounterRanged extends Counter {
```

```
    ...
```

```
    @Override
```

```
    public void up () {
```

```
        if (count < max) { // <----- エラーになる
            count++;       // <----- エラーになる
```

```
        } else {
```

```
            throw new IllegalStateException (
```

```
                String.format ("カウントが上限値%dなのにアップさせようとした", max) );
```

```
        }
```

```
    }
```

```
    ...
```

```
}
```

サブクラスで
再定義して
オーバーライ
ドさせます



継承を使った差分プログラミング

SEP04

22

package counter;

public class CounterRanged extends Counter {

...

@Override

public void up () {

int count = getCount (); // <----- 追加する

if (count < max) { // <----- エラーになる

count++; // <----- エラーになる

setCount (count); // <----- 追加する

} else {

throw new IllegalStateException (

String.format ("カウントが上限値%dなのにアップさせようとした", max));

}

}

...

}

サブクラスで
あっても
private属性
countに
アクセスでき
ません。



継承を使った差分プログラミング

SEP04

23

package counter;

```
public class CounterRanged extends Counter {
```

```
    ...
```

```
    @Override
```

```
    public void down () {
```

```
        int count = getCount (); // <----- 追加する
```

```
        if (count > min) { // <----- エラーになる
```

```
            count--; // <----- エラーになる
```

```
            setCount ( count ); // <----- 追加する
```

```
        } else {
```

```
            throw new IllegalStateException (
```

```
                String.format ("カウントが下限値%dなのにダウンさせようとした", min) );
```

```
        }
```

```
    }
```

```
    ...
```

```
}
```

down () ✕
ソッドも同様
です。



継承を使った差分プログラミング

SEP04

24

package counter;

```
public class CounterRanged extends Counter {
```

```
    ...
```

```
    @Override
```

```
    public void down () {
```

```
        if (count > min) { // <----- エラーになる
            count--;       // <----- エラーになる
```

```
        } else {
```

```
            throw new IllegalStateException (
```

```
                String.format ("カウントが下限値%dなのにダウンさせようとした", min) );
```

```
        }
```

```
    }
```

```
    ...
```

```
}
```

down () ×
ソッドも同様
です。



本日の課題 (4)

• 本日の課題 (4)

- 課題 (3) プロジェクトをコピーして、さらに発展させます。
 - サブクラスCounterRangedでsetCountをオーバーライドするにあたり、スーパークラスのsetCountを使えるときれいに書けます。
 - `super.setCount()` と書くと、スーパークラスのsetCountを呼び出せます

	プロジェクト名		
(3)	P0305c_Counter-005-Inheritance	継承	サブクラスCounterRangedで再定義されている、 <code>up()</code> メソッドや <code>down()</code> メソッドでは、 <code>getCount()</code> / <code>setCount()</code> メソッドで、 <code>count</code> にアクセスします。



	プロジェクト名		
(4)	P0305d_Counter-005-Inheritance	継承	サブクラスCounterRangedで <code>setCount()</code> メソッドを再定義して、上限値/下限値のチェックを含めましょう。スーパークラスの <code>setCount</code> メソッドを呼び出すには、 <code>super.setCount()</code> と書きます。

super句を使いましょう。



継承を使った差分プログラミング

SEP04

26

package counter;

```
public class CounterRanged extends Counter {  
    ...
```

```
@Override
```

```
public void setCount (int count) {  
    if (count >= min && count <= max) {
```

```
        this.count = count; // <----- エラーになる
```

```
    } else {
```

```
        throw new IllegalStateException (
```

```
            String.format ("カウンタに不正な値%dをセットしようとした", count) );
```

```
    }
```

```
}  
    ...
```

```
}
```

やはり、
countに
アクセスでき
ません。



継承を使った差分プログラミング

SEP04

27

package counter;

```
public class CounterRanged extends Counter {  
    ...
```

```
@Override
```

```
public void setCount (int count) {  
    if (count >= min && count <= max) {  
        // this.count = count; // <----- エラーになる  
        super.setCount (count); // <----- 追加する  
    } else {  
        throw new IllegalStateException (  
            String.format ("カウンタに不正な値%dをセットしようとした", count) );  
    }  
    ...  
}
```

superを使って、
スーパークラスの
セッターを呼び出
します。



本日の課題 (5)

• 本日の課題 (5)

- 課題 (4) プロジェクトをコピーして，さらに発展させます。
 - いろいろ苦労しましたが，実は，スーパークラスCounterの中の属性countのアクセスレベルをprotectedにするだけで，簡単に解決します。
 - そのことを確認してください。

	プロジェクト名		
(4)	P0305d_Counter-005-Inheritance	継承	サブクラスCounterRangedでsetCount()メソッドを再定義して，上限値/下限値のチェックを含めましょう。スーパークラスのsetCountメソッドを呼び出すには，super.setCount()と書きます。



	プロジェクト名		
(5)	P0305e_Counter-005-Inheritance	継承	スーパークラスCounterの中の属性countのアクセスレベルをprotectedにするだけで，簡単に解決します。

protectedを
使いましょう。



package counter;

```
public class Counter {
```

```
    ...
```

```
    protected int count = 0;
```

```
    ...
```

```
}
```

**Protectedを
使います**



継承を使った差分プログラミング

SEP04

30

package counter;

```
public class CounterRanged extends Counter {
```

```
    ...
```

```
    @Override
```

```
    public void up () {
```

```
        if (count < max) { // <----- エラーになりません
            count++;       // <----- エラーになりません
```

```
        } else {
```

```
            throw new IllegalStateException (
```

```
                String.format ("カウントが上限値%dなのにアップさせようとした", max) );
```

```
        }
```

```
    }
```

```
    ...
```

```
}
```

protectedなら
サブクラスか
ら
アクセスでき
ます



継承を使った差分プログラミング

SEP04

31

package counter;

```
public class CounterRanged extends Counter {
```

```
    ...
```

```
    @Override
```

```
    public void down () {
```

```
        if (count > min) { // <----- エラーになりません
            count--;       // <----- エラーになりません
```

```
        } else {
```

```
            throw new IllegalStateException (
```

```
                String.format ("カウントが下限値%dなのにダウンさせようとした", min) );
```

```
        }
```

```
    }
```

```
    ...
```

```
}
```

down () ×
ソッドも同様
です。



継承を使った差分プログラミング

SEP04

32

package counter;

public class CounterRanged extends Counter {
 ...

@Override

public void setCount (int count) {
 if (count >= min && count <= max) {

this.count = count; // <----- エラーになりません

} else {

throw new IllegalStateException (

String.format ("カウンタに不正な値%dをセットしようとした", count));

}

...

}

}

やはり、
countに
アクセスでき
ます。

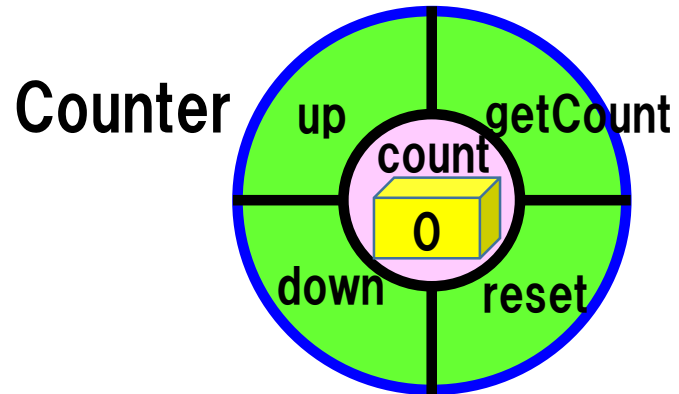


次回: モデル-ビュー-コントローラ (Counterの分離)

SEP05

33

- Model ... カウンターのロジック
- View ... カウンターの見た目 (表示)
- Controller ... カウンターの操作



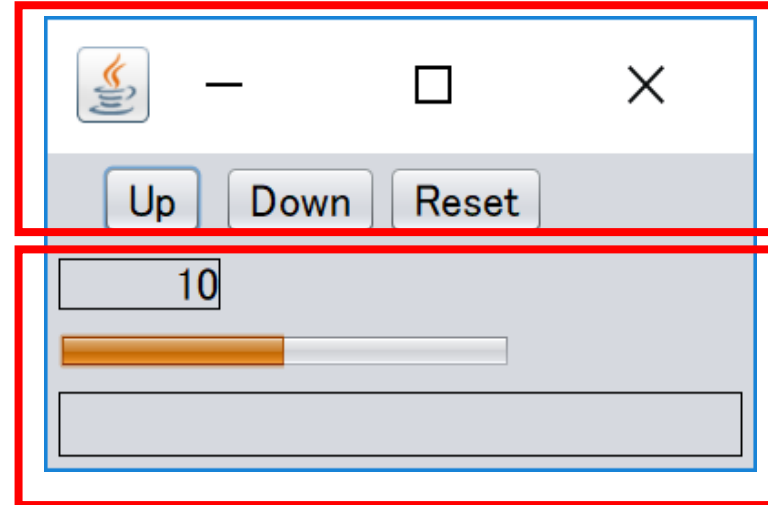
Model
... カウンターのロジック

イベント処理



ビュー更新

Controller ... カウンターの操作



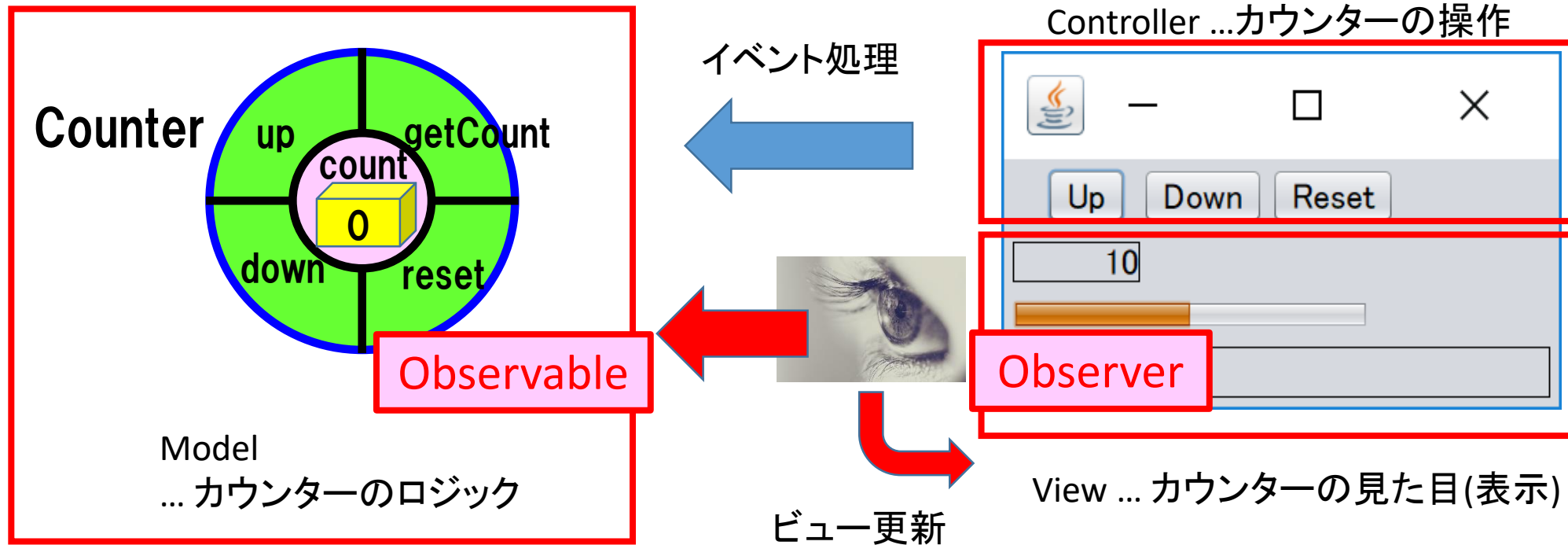
View ... カウンターの見た目 (表示)

まず、
MVCのそれぞれで
パッケージを
分離します。



次回: Observer/Observableパターンの導入

- Model ... カウンターのロジック
- View ... カウンターの見た目 (表示)
- Controller ... カウンターの操作



まず、
MVCのそれぞれで
パッケージを
分離します。

